



リレートーク #204



トップを目指すこと —スポーツとビジネス

永田 亮子

日本たばこ産業
執行役員

2014年を通じて、若い世代の日本人選手、それも個人競技の男子選手が、フィギュアスケート、ゴルフ、テニス、体操等、さまざまなスポーツの国際競技大会で、その名を歴史に刻む活躍をしたことが強く印象に残っている。「今どきの若者は…」 「草食系男子」などと言っては失礼！ とにかく「すごい！ 素晴らしい！」。彼ら在必死に、かつ、ひたむきにプレーする姿に、私は素直に感動した。

言わずもがなであるが、スポーツとビジネスの世界には共通点が多い。いくつか例に挙げるとすれば、私は、世界が舞台であること、競争に勝つことに意義があること、周囲の人々の支えが必要であることを挙げる。また、結果がすべてではないにしても、競争の中でトップを目指すことは、ビジネスの世界で成功するための必須要件だ。「トップ」という言葉には、「一位」「一番上」だけではなく、同時に「ベスト」「ファースト」の意味もある。未知のこと、他の誰もやっていないことにチャレンジして成功した証しなのだ。

自らの限界に挑戦し壁を越えていくことは、身体能力(フィジカルな強さとそれを使いこなす力)を鍛え上げるのみならず、人間的魅力を磨くことにほかならない。トップアスリートは、自分自身のパフォーマンス結果に対して、非常に謙虚だ。自分を支えてくれたスタッフ、家族、サポーターへの感謝を忘れない。メディアのインタビューに対する彼らのコメントが、競技そのものの経験や知識の有無にかかわらず、どれだけ多くの人を感動させ、将来世代をポジティブに刺激しているだろうか。

ビジネスの世界でグローバルに競争して勝ち抜くために目指すならば、やはりトップだとあらためて思う。トップを目指すからこそ、既得の技術を磨き、さらに新しい技術を開発し習得するために努力するのであり、それがイノベーションにつながっていくのだ。未来に向けて、これからのビジネスの持続的成長を社会的課題の解決にどうつなげていくか、^{しんし}真摯に考えていきたいと思っている。